

日本気象協会 2024年 春の花粉飛散予測(第6報) ～スギ・ヒノキ花粉シーズンまもなく終了 東京の総飛散量は例年並み(速報値)～

◆2024年 春の花粉飛散予測のポイント

- ・スギ、ヒノキ花粉の本格的な飛散は、四国、東海、関東甲信の一部と東北で4月下旬まで
- ・5月上旬ごろまで花粉がわずかに飛ぶので、風の強い日など、敏感な人は対策を
- ・今年の花粉の総飛散量(速報値)は、東京は例年並み、名古屋は例年より多い
- ・北海道のシラカバ花粉は4月下旬に飛散開始の見込み

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:渡邊 一洋)は、2024年4月18日(木)に全国・都道府県別の2024年春の花粉(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)飛散予測(第6報)を発表します。また、詳細な情報を、「2024年春の花粉総飛散量 予測資料」として販売します。

1. スギ・ヒノキ花粉の飛散はいつまで?

スギ・ヒノキ花粉シーズンは4月に入って終盤を迎えています。1平方センチメートルあたり10個以上のやや多い花粉を観測するような本格的な飛散は、九州はすでに終了し、中国・近畿・北陸と、関東甲信の広い範囲でもまもなく終了するでしょう。一方、四国や東海、関東甲信の一部から東北にかけては、4月中旬も花粉が非常に多く観測されている地点があり、この先4月下旬まで本格的な飛散が続く見込みです。また、本格的な飛散が終了しても、5月上旬ごろまでは各地で花粉がわずかに飛ぶ日がある見込みです。とくに、風が強い日などは飛散量が増えやすいので、花粉に敏感な方は対策を行ってください。

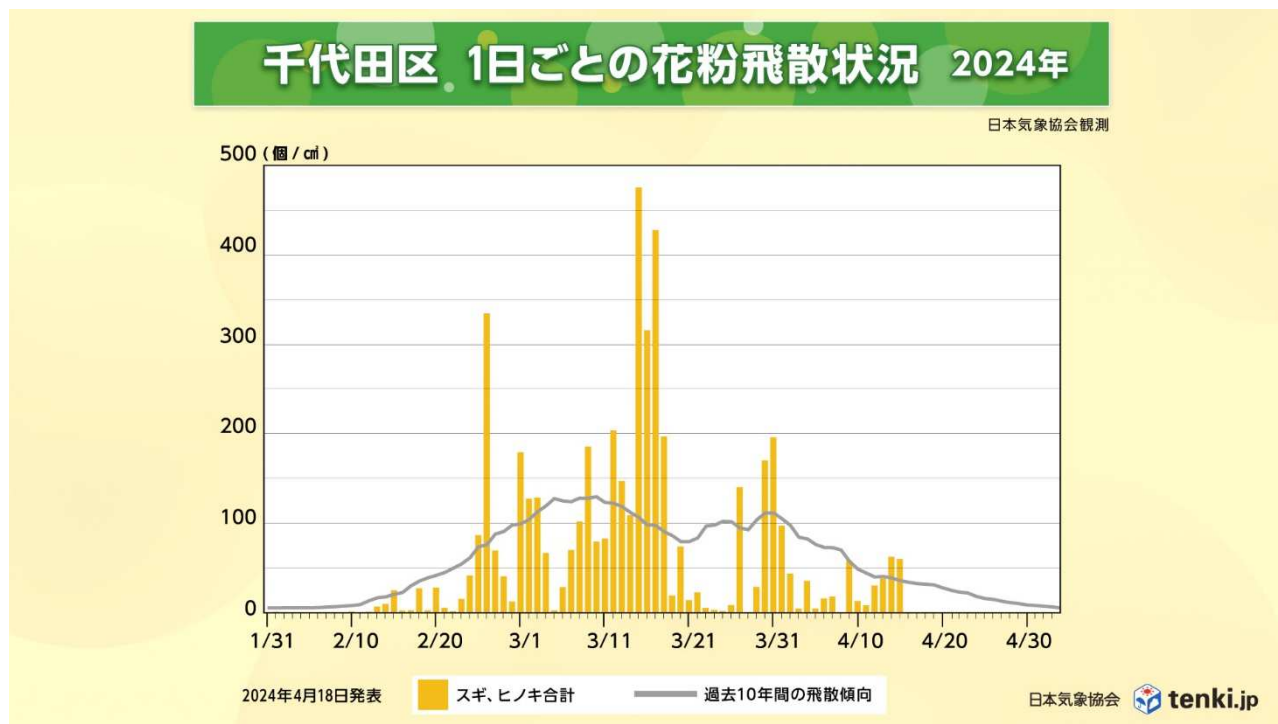


※「4月上旬」の地域では、本格飛散の時期は終了しています



2. 2024年 東京都千代田区のスギ・ヒノキ花粉の飛散状況(日本気象協会観測)

東京都千代田区(日本気象協会観測)では、今年のスギ花粉の飛散は例年並みの2月13日に開始し、ピークは2月下旬から4月はじめにかけて続きました。また、ヒノキ花粉は、3月15日に飛散開始となり、3月末から4月中旬にかけてピークとなりました。とくに、最高気温が25℃以上の夏日となった日などには、花粉が非常に多く観測されました。4月10日までに観測された花粉数の合計は4570個と予測(5500個)の8割を超えています。この先、一日の飛散量は少なくなるものの、5月上旬ごろまでヒノキ花粉がわずかに飛ぶ日がある見込みです。



3. スギ・ヒノキ花粉飛散量の速報値(仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松 4月10日まで)

仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松の4月10日までの観測結果の速報値(日本気象協会観測)によると、今年のスギ・ヒノキ花粉の飛散量は、ほとんどの地点で例年(過去10年の平均)を下回りました。とくに大阪、広島、高松では例年より非常に少なく、昨年(2023年)に比べると仙台、大阪、広島、高松は20%前後と非常に少なくなっています。東京は例年並みですが昨年に比べて少なく、名古屋は例年より多く昨年並みの飛散量となっています。

花粉の飛散量は、多い年の翌年は少なくなる傾向がありますが、昨年の飛散量は例年を大幅に上回った地点が多かったため、今年は例年を下回る地点が多くなったと考えられます。一方、名古屋の昨年の飛散量は例年より多くなりましたが、昨夏の猛暑の影響が顕著に現れたため、今年の名古屋の飛散量は例年より多くなったとみられます。

2024年 各地の花粉飛散量

日本気象協会観測

	飛散量合計※ (4月10日までの暫定値)	例年比	昨年比
仙台	2,397 個/cm ³	少ない 58%	非常に少ない 24%
東京	4,570 個/cm ³	並み 91%	少ない 69%
名古屋	3,024 個/cm ³	多い 163%	並み 105%
大阪	865 個/cm ³	非常に少ない 38%	非常に少ない 26%
広島	1,108 個/cm ³	非常に少ない 35%	非常に少ない 20%
高松	827 個/cm ³	非常に少ない 23%	非常に少ない 14%

※飛散量合計は、観測地点で1平方センチメートルあたりに観測されたスギとヒノキの花粉の数の合計です。

2024年4月18日発表

日本気象協会 

4. シラカバ花粉の飛散開始時期(北海道)

北海道のシラカバ花粉は4月下旬に飛散開始となる見込みです。北海道のシラカバ花粉が飛び始める時期は、春(3~5月)の気温が高いと早まる傾向があります。今年3月は寒暖差が大きいものの1か月を通した気温は平年並みになりました。4月のこれまでの気温は平年より高く推移し、5月にかけても気温は平年並みか高い見込みです。このためシラカバ花粉の飛散開始は、例年並みか早いでしょう。シラカバ花粉の飛散は5月にかけて続き、飛散量は例年より非常に多くなる見込みです。花粉に敏感な方は、万全な対策を心がけて下さい。

天気予報専門メディア『tenki.jp(てんきじゅーぴー)』花粉飛散情報ページ(<https://tenki.jp/pollen/>)では、今日の花粉飛散情報や1週間先までの花粉予測が確認できるほか、気象予報士のポイント解説(日直予報士)にて花粉飛散に関する記事や花粉対策の紹介を行っています。毎日の花粉症対策にお役立てください。『tenki.jp』は、日本気象協会とALiNKインターネットの共同運営です。

用語の説明

飛散開始日 : 1 cm³あたり1個以上の花粉を2日連続して観測した場合の最初の日
 ピーク開始(終了)日 :【スギ花粉】2日以上連続で50.0 個/cm³花粉が観測された最初(最後)の日
 :【ヒノキ花粉】2日以上連続で30.0 個/cm³花粉が観測された最初(最後)の日
 例年 : 過去10年(2014~2023年)の平均値

◆日本気象協会の花粉飛散予測とは

日本気象協会は1990年からスギ花粉の飛散予測を発表しています。日本気象協会の花粉飛散予測は前シーズンの花粉飛散結果や今後の気温予測などの気象データをもとに、全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報、花芽の現地調査の結果などをふまえて予測しています。

- ・本情報の無断での法人利用(プレスリリースでの引用や販促目的使用など)はご遠慮いただいております。
 商品PRなどで法人利用をご検討の際はお問合せフォーム(<https://www.jwa.or.jp/contact/>)からご連絡をお願いします。